

事業番号	10 03 02	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材需給体制整備事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室				
		実施期間	S60 ~	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

### 1 現状と課題

本県の森林資源の成熟に伴い、県内における素材生産量は確実に増加傾向にあることから、県産材の出荷量や木質バイオマスの生産量をさらに拡大する必要がある。

このため、県産材の加工・流通の体制整備と事業体の育成及びチップ、ペレット、薪等の木質バイオマスの利用促進が必要。

また、令和3年春から外材の調達が困難となり、国産材需要が急激に拡大したことから、これに応じた供給体制の構築が必要となっている。

### 2 事業目的

県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に関する事業者への支援を通じて、安定的に県産材を利用し効率的に製品・サービスを供給できる体制づくりを推進し、森林資源の有効活用により地域を支え、持続的に発展する競争力の高い木材産業の構築を目指す。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①県産材需要の拡大

- ・木材産業の育成強化のため運転資金を低利融資
- ・木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器の整備への支援（ボイラー2台、ストーブ48台）

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	素材(木材)生産量	千m <sup>3</sup>	570	625	↗	629	↗	800	未達成	県産材需要の拡大のためには、素材となる木材の生産量が増大することが必要である R4年度目標値は木材需要の伸び率等を考慮して、541千m <sup>3</sup> ⇒800千m <sup>3</sup> （R4）と設定	
②	県内の製材品出荷量	千m <sup>3</sup>	91	109	↗	104	↘	155	未達成	県産材需要の拡大の指標として、適当と考えられる R4年度目標値は製材品需要の伸び率等を考慮して、116千m <sup>3</sup> （H29）⇒155千m <sup>3</sup> （R4）と設定	
③	木質バイオマス生産量	千m <sup>3</sup>	104	165	↗	162	↘	232	未達成	県産材需要の拡大の指標として、適当と考えられる R4年度目標値は木質バイオマス需要の伸び率等を考慮して、59千m <sup>3</sup> （H29）⇒232千m <sup>3</sup> （R4）と設定	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	21,640	383,736	60,100	465,476	1,322	362,472	3.0
R3年度	0	496,779	△ 28,582	468,197	1,322	442,124	4.6
R2年度	0	421,888	△ 82,329	339,559	1,613	337,591	3.8

事業番号	10 03 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	県産材需給体制整備事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室		

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>木材産業の育成強化のため運転資金を低利融資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材産業の育成強化のため運転資金を低利融資を行うための原資として、178,000千円を市中銀行3行へ預託</li> <li>・事業者1者に対して20,000千円の貸付実績</li> </ul> <p><b>木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器の整備への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器を41台導入し、木質バイオマスの需要拡大を図った</li> </ul>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	素材(木材)生産量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>県外合板工場（R4年素材生産量：合板用231千m<sup>3</sup>）やバイオマス発電等の需要増加（R4年素材生産量：バイオマス用162千m<sup>3</sup>）に伴い、素材生産量は541千m<sup>3</sup>（H29）から629千m<sup>3</sup>（R4）へ増加した。</p>							
指標②	県内の製材品出荷量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
<p>県内の製材品出荷量は、新設住宅着工数に占める木造率が74.1%（H29）から71.6%（R4）と減少する中で、116千m<sup>3</sup>（H29）から104千m<sup>3</sup>（R4）へ減少している。</p>							
指標③	木質バイオマス生産量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
<p>バイオマス発電等の需要増加により、59千m<sup>3</sup>（H29）から162千m<sup>3</sup>（R4）へ増加している。</p>							

## 8 今後の事業の方向性

<p><b>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</b></p> <p>品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用に加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。</p> <p>また、いわゆるウッドショック等の社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業者への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。</p> <p>具体的な課題については、木材産業等高度化推進資金の利用実績が低調であることから、市中銀行への預託額の減額を検討する必要がある。</p> <p>また、木材産業成長産業化促進対策事業については、木材加工施設整備の補助要件にJASの取得があり、ハードルとなっている。</p>
<p><b>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</b></p> <p>木材産業等高度化推進資金については、利用実績に応じた市中銀行への預託額の減額を検討する。</p> <p>木材産業成長産業化促進対策については、国庫補助事業となるため、国の施策への要望として林野庁へ要件緩和を要望していく。</p>

事業番号	10 03 02	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	<b>県産材需給体制整備事業</b>	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>地域木材産業活性化推進事業</b>	267,434 千円	267,432 千円	267,370 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金	貸付金	木材産業の育成強化及び活性化を図るため、運転資金の低利の融資を実施 事業者1者、貸付金額20,000千円	
2	木材市況等調査	直接	木材産業の状況把握のために、木材市況調査、木材流通調査を実施 —	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>木材産業成長産業化促進対策事業</b>	70,157 千円	174,692 千円	95,102 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	木質バイオマス利用促進施設整備費	補助金 その他	木質バイオマスの利用を促進するための燃焼機器の整備を支援 補助事業4件、補助金額50,899千円 付帯事務費1,401千円	
2	資金融通償還金	その他	木質バイオマスエネルギー導入促進支援事業により補助した資金融通に対する償還金及び国庫返納金 償還金等 42,802千円	